



姜奉植教授

略歴

韓国京畿道平澤出身。1985年に来日し、横浜市立大学文理学部文科卒業、東北大学大学院国際文化研究科博士課程前期修了、慶尚大学校一般大学院日本学科博士課程修了。慶熙大学校アルタイ語研究所研究委員を経て1998年に岩手県立大学総合政策学部助教授に就任。現在、岩手県立大学高等教育推進センター国際教育研究部教授。専門は、韓国語学、日本語学、韓日言語系統論。学内では共通教育センター副センター長、同センター長、高等教育推進センター基盤教育部長、同センター長を歴任し、学外ではウランバートル大学客員教授、日本韓国語教育学会会長等を歴任。2018年に大韓民国花冠文化勲章受章。2019年に日本韓国語教育学会創立功労賞受賞。

研 究 業 績

著書

書名	単著、共著の別	発行年月	発行所の名称	共著者名	総頁数または掲載頁
1. 무엇이든 물어봅시다 (日本語で何でも聞いてみよう)	共著	1991.7	다락원 (多楽園)	日高春昭 姜奉植	総199頁
2. 일본어로 어떻게 대답할까? (日本人に聞かれたらどう答える?)	共著	1991.7	다락원 (多楽園)	日高春昭 姜奉植	総295頁
3. 韓国語会話入門	単著	1995.11	東方書店		総233頁
4. 日本人のための アンヨンハセヨ・안녕 하십니까 韓国語入門1	単著	1996.3	시사일본어 사 (時事日本語社)・ 国書刊行会		総158頁
5. 日本人のための アンヨンハ세요・안녕 하십니까 韓国語入門2	単著	1996.3	시사일본어 사 (時事日本語社)・ 国書刊行会		総156頁
6. いま！日本語ボランティア 「日本語ボランティア講座」 (山形)	分担	1996.8	凡人社	水谷修他17名	pp.87-93
7. 中国人学韓国語入門1 (中国語版)	共著	1998.10	SISA Education	姜奉植、崔健	総135頁
8. 中国人学韓国語入門2 (中国語版)	共著	1999.2	SISA Education	姜奉植、崔健	総128頁
9. NEW 뉴일본어회화 첫걸음 (ニュー日本語会話はじめの一步)	共著	1999.5	시사일본어 사 (時事日本語社)	遠藤義孝、姜 奉植、高木裕 子、崔英淑	pp.1-99
10. NEW 뉴일본어회화 첫걸음 단 어장 (ニュー日本語会話はじめの一步単語帳)	共著	1999.5	시사일본어 사 (時事日本語社)	遠藤義孝、姜 奉植、高木裕 子、崔英淑	pp.6-80

著書

書名	単著、共著の別	発行年月	発行所の名称	共著者名	総頁数または掲載頁
11. Beginner's Korean 1 (英語版)	共著	1999.6	SISA Education	姜奉植 Kee-dong Lee	総144頁
12. Beginner's Korean 2 (英語版)	共著	1999.10	SISA Education	姜奉植 Kee-dong Lee	総136頁
13. Modern Approaches to Transitivity	共著	2000.3	東京外国語 大学アジア・ アフリカ言語 文化研究所	菊澤律子 佐々木冠	pp.93-115
14. 読解学日語 (中国語版)	共著	2002.1	大新書局	遠藤義孝、姜 奉植、高木裕 子、崔英淑	
15. 作文學日語 (中国語版)	共著	2002.1	大新書局	遠藤義孝、姜 奉植、高木裕 子、崔英淑	
16. 説日語學日語 初級 I (中国語版)	共著	2002.1	大新書局	遠藤義孝、姜 奉植、高木裕 子、崔英淑	総141頁
17. 説日語學日語 初級 II (中国語版)	共著	2002.6	大新書局	遠藤義孝、姜 奉植、高木裕 子、崔英淑	総173頁
18. 改訂版Beginner's Korean 1 (英語版)	共著	2003.1	Language PLUS	姜奉植 Kee-dong Lee	総144頁
19. 改訂版中国人学韓国語入門2 (中国語版)	共著	2003.1	Language PLUS	姜奉植、崔健	総128頁
20. 改訂版中国人学韓国語入門1 (中国語版)	共著	2004.1	Language PLUS	姜奉植、崔健	総135頁
21. 改訂版Beginner's Korean 2 (英語版)	共著	2004.1	Language PLUS	姜奉植 Kee-dong Lee	総136頁
22. 改訂版 日本人のための 안녕하세요・안녕하십니까 韓国語 入門 1	単著	2004.1	Language PLUS		総158頁

著書

書名	単著、共著の別	発行年月	発行所の名称	共著者名	総頁数または掲載頁
23. 改訂版 日本人のための アンヨンハセヨ・アンヨンハシムニカ 韓国語入門2	単著	2004.1	Language PLUS		総156頁
24. 中国人学韓国語入門 上 (中国語版)	共著	2007.4.1	外語教学与研究出版社	姜奉植、崔健	総129頁
25. 中国人学韓国語入門 下 (中国語版)	共著	2007.4.1	外語教学与研究出版社	姜奉植、崔健	総123頁
26. 한국어의 역사와 문화 (韓国語の歴史と文化)	分担	2007.12	図書出版 박이정 (図書出版パギジョン)	Choi Keeho 他32名	pp.21-40
27. なるほど！韓国語 - 文字と発音編 -	単著	2008.3	研究社		総176頁
28. 韓国語入門1 (中国語版)	共著	2008.9.1	宜新文化	崔健、姜奉植	ISBN 978-986-6809-02-6
29. 韓国語入門1 (中国語版)	共著	2008.9.1	宜新文化	崔健、姜奉植	ISBN 978-986-6809-03-3
30. なるほど！韓国語 - 会話と文法編 -	単著	2008.10	研究社		総246頁
31. เกาหลีสําหรับผู้เริ่มต้น 1 (Korean for Beginners 1、Thai語版)	共著	2009.4	Language PLUS	姜奉植 Lee Kee-dong	総144頁
32. เกาหลีสําหรับผู้เริ่มต้น 2 (Korean for Beginners 2、Thai語版)	共著	2009.9	Language PLUS	姜奉植 Lee Kee-dong	総136頁
33. 淵澤能恵研究	単著	2019.3	岩手県立大学淵澤能恵研究会		総額359頁

学術論文

書名	単著、共著の別	発行年月	発行所または掲載誌	共著者名	掲載頁
1. 『改修捷解新語』に見られる「○-ㄱ」ハンゲル表記に関しての一考察	単著	1994.9	慶熙 ^{アルタイ} 語研究所 論文集 第2号		pp.22-39
2. 『改修捷解新語』に見られるカ(ガ)行音のハンゲル表記に関する再考	単著	1996.3	秋田論叢 第12号		pp.67-86
3. 日本語と韓国語の身体語彙及びその関連語彙における類似性について	単著	1997.3	秋田論叢 第13号		pp.1-24
4. 21世紀を目指した日・韓・中の経済協力 - 友好姉妹地域間協力の視点 -	共著	1998.2	地域研究 第9号	千葉康弘	pp.43-63
5. ニ/デと-에/-에서/ -(으)로の日韓対照 - 格助詞の標準的な意味と用法の範囲について -	単著	1998.3	秋田論叢 第14号		pp.83-100
6. 現代韓国語の属格助詞-의と主格助詞-이/-가が交替できる統語的環境について - 日本語の属格助詞「-の」との類似性を通して -	単著	1998.3	山形大学日本語教育論集 第1号		pp.5-13
7. 한글 교수법의 효율적인 시스템화 - 일본인 한국어 학습자를 대상으로 - (ハンゲル教授法の効率的システム化 - 日本人韓国語学習者を対象にして -)	単著	1999.3	言語と文化 創刊号		pp.29-54
8. Action/State Continuum and Nominative-Genitive Conversion in Japanese and Korean	共著	2000.3	Modern Approaches to Transitivity	Kaoru Horie Bongshik Kang	pp.93-114
9. 『杜詩諺解』原刊本(巻六、巻七)における属格助詞「-의/-의」及び「-인」の主格性に関する研究(上) - 日本語の属格助詞「-の」との類似性を通して -	単著	2000.3	言語と文化 第2号		pp.33-60
10. 地名における綴りと発音のずれ - ウスター、東京、カトマンドウ、金海の場合 -	共著	2000.12	総合政策第2巻 第3号	米地文夫 姜奉植 ベッド B. ビスタ	pp.297-309

学術論文

書名	単著、共著の別	発行年月	発行所または掲載誌	共著者名	掲載頁
11. 『杜詩諺解』原刊本(巻六、巻七)における属格助詞「-의/-의」及び「-入」の主格性に関する研究(下) -日本語の属格助詞「-の」との類似性を通して-	単著	2001.3	言語と文化 第3号		pp.19-33
12. 韓国語の二種類の否定形式の併存に関する機能類型論的考察：文法化の観点から	共著	2002.3	言語処理学会第8回年次大会発表論文集	守屋哲治、姜奉植、堀江薫	pp.85-88
13. 日韓国語の「モダリティ」の機能に関する比較類型論的研究	共著	2003.3	言語処理学会第9回年次大会発表論文集	守屋哲治、姜奉植、堀江薫	pp.581-584
14. 関西方言の否定形式交替現象に関する認知言語学的研究：韓国語との対照に基づいて	共著	2004.7	ひつじ研究叢書(言語編)第34巻 対照言語学の新展開	堀江薫、近藤絵美、姜奉植、守屋哲治	pp.319-332
15. 일본어를 모어로 하는 한국어 학습자들의 받침 발음의 문제점과 교정법 (日本語を母語とする韓国語学習者における音節末子音の発音の問題点とその矯正法)	単著	2005.6	Journal of Northeast Asian Studies		pp.160-165
16. 일본어를 모어로 하는 한국어 학습자들의 받침 발음의 문제점과 교정법에 관한 한일 양 언어의 음운학적 고찰연구 (日本語を母語とする韓国語学習者における音節末子音の発音の問題点とその矯正法に関する日韓両言語の音韻学的考察研究)	単著	2006.12	語源研究 第7号		pp.137-150
17. 日本の国際化と韓国語教育	単著	2010.8	大邱韓医大大学校創立30周年記念事業団		pp.33-36
18. 淵澤能恵と明新女学校及び淑明女子専門学校の創立について - 『淵澤能恵の生涯』韓国語翻訳出版を機に -	単著	2010.11	日本韓国語教育学会創立記念国際学術大会誌		pp.100-114

学術論文

書名	単著、共著の別	発行年月	発行所または掲載誌	共著者名	掲載頁
19. 한국어 음운변화와 유사한 일본어의 음운현상에 관하여 - 일본어를 모어로 하는 한국어 학습자들의 음운변화 학습을 위해- (韓国語の音韻変化と類似する日本語の音韻現象について -日本語を母語とする韓国語学習者達の音韻変化学習に資するために-)	単著	2011.8	第21回国際韓国語教育学会国際学術大会誌		pp.251-259
20. 일본어를 모어로 하는 한국어 학습자들의 받침 발음의 문제점과 교정법에 관한 연구 (日本語を母語とする韓国語学習者達のバッチムの発音の問題点と矯正法に関する研究)	単著	2011.9	韓国語教育研究創刊号		pp.13-20 (再録)
21. ㄹ어간 활용시의 음운탈락 현상의 규칙화 (ㄹ語幹活用時の音韻脱落現象の規則化)	単著	2012.9	韓国語教育研究第2号		pp.18-36 (再録)
22. ㄹ어간 활용시의 음운탈락 현상의 규칙화 (ㄹ語幹活用時の音韻脱落現象の規則化)	共著	2012.10	第5回アジア韓国語文化教育研究学会大会誌	姜奉植 高木裕子	pp.67-84
23. 淵澤能恵概説	単著	2013.9	韓国語教育研究第3号		pp.7-20
24. 日本人韓国語学習者の為の韓国語の発音変化の諸規則	単著	2016.3	リベラル・アーツ10号		pp.35-54
25. 변자음화 교육의 중요성에 관해서 - 변자음화와 일본어의 促音/撥音의 발음 특징과의 대조를 통해서 - (変子音化教育の重要性について -変子音化と日本語の促音/撥音の発音の特徴との対照を通して-)	単著	2016.8	第26回国際韓国語教育学会国際学術大会		pp.553-560
26. 후치자와 노에 학감과 숙명여자전문학교 설립에 관해서 (淵澤能恵学監と淑明女子専門学校の創立について)	単著	2022.9	韓国語教育研究第12号		総20頁

翻訳・監訳

題名または書名	単訳、共訳の別 (原語→訳語)	発行年月	発行所または掲載誌	総頁数または 掲載頁
1. 国際交流基金ビデオ教材 『テレビ日本語講座初級Ⅰ スキット ヤンさんと日本の 人々シナリオ』	単訳 (日本語→韓国語)	1995.3	日本語教育におけるハイ パーメディアの可能性	pp.105-144
2. 金洙權著「21世紀を 目指した遼寧省・神奈川県・ 京畿道等東北アジア3姉 妹地域間の経済協力」	単訳 (韓国語→日本語)	1996.11	地域研究 第8号	pp.43-53
3. GANADA Korean Language Institute著 『Korean for Japanese Elementary 1』	単訳 (韓国語→日本語)	1997.11	SISA Education	総222頁
4. カナタ韓国語学院著 『Korean for Japanese 初 級2』	単訳 (韓国語→日本語)	1998.2	SISA Education	総274頁
5. カナタ韓国語学院著『カナ ダ Korean for Japanese 中級1』	単訳 (韓国語→日本語)	2004.1	Language Plus	総253頁
6. カナタ韓国語学院著『カナ ダ Korean for Japanese 中級2』	単訳 (韓国語→日本語)	2004.1	Language Plus	総246頁
7. 金重燮他3名著『日本人の ための韓国語ナビ1』	監訳 (韓国語→日本語)	2007.7	Japan Language Plus	総223頁
8. 金重燮他3名著『日本人の ための韓国語ナビ2』	監訳 (韓国語→日本語)	2007.7	Japan Language Plus	総284頁
9. 村上淑子著『후치자와 노 예의 생애』 (淵澤能恵の生涯)	単訳 (日本語→韓国語)	2009.6	현학사 (HYUNHAK社)	総211頁

報告書・研究ノート類

題名	単著、共著の別	発行または発表の年月	発行所または掲載誌	共著者名	総頁数または掲載頁
1. 異文化接触 - 日韓の場合 -	単著	1996.3	山形日本語ネットワーク		pp.34-35
2. 日本語と韓国語の比較対照 - 韓国人日本語学習者の問題点のみ抜粋 -	単著	1996.3	山形日本語ネットワーク		pp.35-36
3. 直接法による韓国語の体験学習	単著	1997.9	山形日本語ネットワーク		pp.25-26
4. 日本語と韓国語の比較対照	単著	1997.9	山形日本語ネットワーク		pp.27-31
5. 海外の大学における外国語教育の実態調査および研修 (第1回)	共著	1999.2	岩手県立大学言語文化教育研究センター	姜奉植 小田基	総56頁
6. 否定現象の文法化に関する研究：認知言語学および言語類型論の観点から (課題番号13610654)	共著	2003.4	平成13年度～平成14年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (1)) 研究成果報告書	守屋哲治 姜奉植 堀江薫	pp.1-43
7. 彙報「淵澤能恵」	共著	2010.11	日本韓国語教育学会創立記念国際学術大会誌	姜奉植 高木裕子	pp.115-136
8. 淵澤能恵概説	単著	2013.9	韓国語教育研究 第3号		pp.7-20
9. 日本語, 韓国語の発音変化の諸規則 - 日本人韓国語学習者の為の -	単著	2015.5	2015年韓国語教育者セミナー		pp.5-26

学会発表

題名	単独発表、共同発表の別	発表年月	発表学会	共同発表者名
1. 21世紀を目指した日・韓・中の経済協力	共同	1996.10	第4回秋田経済法科大学経済研究所・慶熙大学校研究交流会兼第7回経済研究所研究会	姜奉植 千葉康弘
2. 日韓両言語の比較における基礎語彙選定と音韻対応に関する研究	単独	2000.6	2000年度韓国日本語教育学会セミナー	
3. 韓国語の二種類の否定形式の併存に関する機能類型論的考察：文法化の観点から	共同	2002.3	言語処理学会第8回年次大会	守屋哲治 姜奉植 堀江薫
4. 日韓語の「モダリティ」の機能に関する比較類型論的研究	共同	2003.3	言語処理学会第9回年次大会	守屋哲治 姜奉植 堀江薫
5. 日本語を母語とする韓国語学習者における音節末子音の発音の問題点とその矯正法	単独	2005.6	2005 The Second Annual Meeting of the International Association for Northeast Asian Studies	
6. 「ㄷ語幹」と諸語尾との接続における音韻脱落現象の規則化	単独	2010.2	日本韓国語教育学会第1回東北研究集会	
7. 韓国語文法と教室教育	単独	2010.8	国際韓国語教育学会創立25周年記念 第20回国際学術大会	
8. 日本の国際化と韓国語教育	単独	2010.8	大邱韓医大学校創立30周年記念国際学術大会	
9. 淵澤能恵と明新女学校及び淑明女子専門学校の創立について - 『淵澤能恵の生涯』韓国語翻訳出版を機に -	単独	2010.11	日本韓国語教育学会創立記念国際学術大会	
10. 日本語を母語とする韓国語学習者における音節末子音の発音の問題点と矯正法に関する研究	単独	2011.4	第5回岩手韓国語教育研究会	

学会発表

題名	単独発表、共同発表の別	発表年月	発表学会	共同発表者名
11. 韓国語の音韻変化と類似する日本語の音韻現象について - 日本語を母語とする韓国語学習者達の音韻変化学習に資するために -	単独	2011.8	第21回国際韓国語教育学会 国際学術大会	
12. ディスカッション 『至正條格』	単独	2012.5	モンゴル国務総理室後援 「ジンギス・カーン生誕850 周年記念国際学術大会	
13. ㄷ語幹活用時の音韻脱落現象の規則化	単独	2012.10	第5回アジア韓国語文化教育 研究学会	
14. 日韓言語の系統的関係について	単独	2013.3	第11回岩手韓国語教育研究会	
15. 古代韓国の地名・国名・人名等について	単独	2014.4	第14回岩手韓国語教育研究会	
16. 韓国語の発音変化の諸規則	単独	2015.5.	2015年韓国語教育者セミナー	
17. 변자음화 교육의 중요성에 관해서 - 변자음화와 일본어의 促音/撥音의 발음 특징과의 대조를 통해서- (変子音化の教育の重要性について - 促音/撥音の発音特徴との対照を通して -)	単独	2016.8	第26回国際韓国語教育学会 国際学術大会	
18. 후치자와 노예 학감과 숙명여자전문 학교 설립에 관해서 (淵澤能恵学監と淑明女子専門学校の創立について)	単独	2019.5	2019年韓国LOGOS経営学 会春季学術大会	

*その他の業績については省略する。